中日新聞（2022年9月15日付）
掲載記事は中日新聞社の許諾を得て転載しています。

空き家活用 日福大生が知恵

デイサービス転用想定

美浜で見学、情報収集

日本福祉大半田キャンパス（半田市）の健康科学部福祉工学科の学生たちが十四日、設計の授業の一環で、美浜町河和の空き家を見学した。デイサービスに転用することを想定し、収集した情報を基に、設計案を担当教員に提出する。

毛利志保准教授の講義を受ける約三十人が参加した。訪れた物件は築百年ほどと推定される木造家屋で、空き家になって約三十年。学生たちはさまざまな場所の写真を撮ったり、寸法を測ったりして、設計案を作るために必要な情報を集めた。二年の高須海輝（かいき）さん（二〇）は「古い建物にもかかわらず、間取りは今と比べてもあまり変わらないのは意外だった。車いすの人や高齢者が楽しく、より快適に過ごせるような施設を想定し、設計したい」と意気込んでいた。（三宅駿平）

寸法を測るなどして情報を集める学生たち＝美浜町河和で

（許諾番号:20220921-28314）